

## 1.はじめに

「小石原川ダム建設事業に係るダム下流河川環境検討会」（以下「検討会」という。）は、小石原川・佐田川におけるダム下流の河川環境に関して、小石原川ダム建設事業の環境影響評価において示された「既設江川ダム及び寺内ダムと相まった適切な運用など下流河川の環境に配慮した操作方法について更に検討を進める」との方針に基づいて、水資源機構が地下水の動きを含めたダム下流の河川環境の改善に向け、適切な施設運用などについて調査・検討を実施するにあたり、専門的な見地から指導・助言を行ってきた。

検討会は、小野勇一委員（九州大学名誉教授）、梶田聖孝委員（東海大学教授）、古賀憲一委員（佐賀大学教授）、嶋田純委員（熊本大学教授）により構成され、平成 21 年 4 月 25 日から本日まで、計 6 回の検討会を開催し、小石原川及び佐田川の河川環境の状況や当該地域で生産されているスイゼンジノリの生育環境、両筑平野地下水の状況など幅広い視点からダム下流域の現状について審議を行ってきたところであるが、本日、検討会として以下のとおりとりまとめたので、水資源機構に提出する。

平成 25 年 4 月 1 日  
委員長 嶋田 純